# 地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議

ー生涯学習社会における知の拠点・ネットワーク形成ー

生涯学習政策局 生涯学習推進課

資料5

# 1. 趣 旨

大学(短期大学を含む)は、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支える と同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている。 また、こうした取組を継続して行うことで、大学が地域等に支えられる機関として確固たる地位を築くことにつ ながっていくと考えられる。

このため、文部科学省としては、大学が地域との共生・協働関係を発展させる取組を支援するとともに、平成 24年度中にこうした取組を推進する中核となる大学間ネットワークの構築により、全国的に「地域と共生する大 学づくり」に向けた意識の共有及び機運の醸成を図る。

なお、これらの取組を推進する手法として、異なる立場の者が一体となって課題解決の方法等を考える場づく りとして、また、学生の学習の場としても有効である「熟議(※)」の活用を推奨する。

(※)文部科学省では、現場の課題解決と政策形成の好循環を目指し、平成22年4月より「熟議」の取組を行っており、その手法は当事者による学習・合意 形成・課題解決等を促進する上で有効である。

# 2. 実施方法

- (1) 上記趣旨に賛同する大学が、学生等の協力も得ながら実施する。
- (2) 文部科学省は共催者として、「熟議」のノウハウ等を提供する。

# 3. 実施期間

平成23年度から平成24年度(予定)

# 実施大学一覧

## (プレ実施)

•和歌山大学 <sub>平成22年10月23日</sub>

・ 地域を支え、地域に支えられる大学づくりのため、大学や 地域が抱える課題に対しての解決策を総合的に熟議

•琉球大学

平成23年 6月12日

へ ひとづくりと街づくりの循環に、大学生等が参画すること で地域の課題解決がどのように図られるかをテーマに熟議

•三重大学

7月16日

「キャリア形成・能力開発の授業の一環として、地域・学校 ・大学等が抱える課題とその未来をテーマに熟議

•北海道教育大学

10月21日

国立大学法人に置かれている生涯学習系センターの課題と 展望などをテーマに熟議(検討中)

•東京学芸大学

11月頃

- •香川大学
- ·山口大学
- •明治大学



※随時実施大学を拡大

# 地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議

生涯学習社会における知の拠点・ネットワーク形成ー

# 

多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら課題解決・ 政策形成をしていくこと。

### 具体的には、

- ①多くの当事者(保護者、教員、地域住民等)が集まる
- ②課題について学習・熟慮し、討議をする
- ③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まる
- 4解決策が洗練される
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる

というプロセスのことを言う。

# B大学

D大学

## 大学間 ネットワー クの構築 C大学

- ・問題意識や志 の共有
- 課題解決のノウ ハウの共有 等

## 【ニーズ等】

- ・「大学の役割である社会貢献機能を強化 したいし
- 「教育、研究の場として、地域との結びつ きを強化したい」
- ・「広報活動を強化し、大学の取組を地域 に紹介したい! 等

# 大学生

- 「地域のことをもっと知りたい」
- ・「地域の役に立ちたい」
- 「大学で学んでいることが、社会でど のように活用できるのか試してみた い」等

# 地域

## 企業

- ・「大学と協働して地域の役に立つ取 組を行いたい」
- •「商品開発にあたり大学生の意見を 聞きたい」等

※テーマ設定は自由

連携の開始・深化の きっかけづくり

## NPO等

- ・「大学と協働で地域の課題解決に向 けた取組を行いたい」
- 「活動に協力してくれるボランティア を確保したい」等

# 学習者

## 高齢者

・「生まれ育った地域の役に立ちたい」

主婦

·「子育てが落ち着いたので、就職に

•「主婦仲間で地域を元気にするNPO

役立つ知識・技術を得たい」

を立ち上げたい」等

「高齢期特有の問題に対処したい」等

## 社会人

- 「キャリアを向上させたい」
- ・「仕事に役立つ人脈を広げたい」等

# 高校生

- 「将来の針路選択に向けて大学の ことをもっと知りたい」
- 「興味・関心を持ったことをもっと深 〈学びたい」等

# 社会教育施設

(公民館、図書館、博物館等)

- ・「大学の公開講座と連携して様々な ニーズに対応した講座を提供したい」
- 「質の高い講座を提供するために大学 から講師を招きたい」等

# 地方公共団体

- ・「大学生は地域にもっと溶け込んで 活動して欲しい」
- ・「職員の能力向上のために、地域の 大学を活用したい」等

# 課題解決

相互理解

# 大学と地域との共生・協働関係が発展